



刈谷市の『国際化・多文化共生』かわら版

Vol.05 / FREE

KARIYA GLOCAL LETTER

『刈谷市国際化・多文化共生推進計画』(H24.3策定)に掲げた3つの重点協働プロジェクトの取り組み状況を報告する広報紙

【地球市民拠点プロジェクト】グローバル・カレッジ2013 in KARIYA 第4回 開催報告

がつ にち ど ふえあとれーど たいけん とお たの まな だれ こくさいこうけん
 2月22日(土)、フェアトレードについて体験を通して楽しく学ぶ、「誰でもできる国際貢献！」

せかい ふえあとれーど ばーてい おこな
 わたしと世界がつながるフェアトレード・パーティ！」が行われました！



▲ フェアトレード・パーティー会場全体の様子。万国旗も雰囲気盛り上げています。

2が3つ並んだ縁起の良い日に、参加者、スタッフ合わせて70人という多くの人たちが、刈谷市国際プラザに集い、刈谷市で初めて「フェアトレード」をテーマにしたイベントが開催されました。チョコレートクイズに始まり、児童労働をなくす活動をしているNPO法人ACEの教材を使った「なりきり！チョコレート生活」で体験学習をした後、フェアトレードの商品の試食・試飲とお買い物タイム、さらにJICAのエッセイコンテスト表彰式で中学生のスピーチなど、学びと感動の多い会になりました。

参加者の満足度も100%！「チョコレートの原料であるカカオの生産の実態(児童労働など)について知ることができた」という意見が83%と多く、「なりきり！チョコレート生活」の体験学習や刈谷北高校生提供のフェアトレード芝居(ビデオ)への印象が高かったようです(裏面アンケート結果参照)。

イベントの企画・運営は、市民、学校、NGO・NPO、JICA、行政など24人(ビデオ出演も含めると32人)、本年度4回のグローバル・カレッジの中で最も多く、多様なセクターから参画したメンバーで行うことができました。

以下、8枚の写真と解説で当日の様子をお伝えします。

※「フェアトレード」とは…直訳すると「公正貿易」で、途上国の生産者の生活向上や環境のことを考えた貿易のことです。



開催概要

- 日時: 2014年2月22日(土) 13:30-16:00
- 場所: 刈谷市国際プラザ
- 参加者数: 46人(うち外国籍5人:中国、フィリピン)、市民スタッフ19人、事務局5人、総勢70人
- プログラム:
 1. 開会、趣旨説明 13:30-[5]
 2. チョコレートクイズ 13:35-[15]
 3. グループ自己紹介 13:50-[14]
 4. なりきりチョコレート生活 14:04-[62]
 5. 刈北高生提供フェアトレード芝居 15:06-[10]
 6. フリータイム(試食、買い物) 15:16-[10]
 7. エッセイコンテスト表彰式 15:26-[15]
 8. フリータイム&ふりかえり 15:41-[19]



- 「チョコレートクイズ」でつかみはOK! ガーナの子ども達の生活やカカオ豆の栽培・収穫からチョコレートの生産がわかるビデオも観ました。

クイズ 日本がもっとも多くカカオ豆を輸入している国はどこ? → A. コートジボワール、B. ガーナ、C. ブラジル、D. インドネシア (答え:B)

- 6つのテーブル(家族)で、「呼ばれたい名前」、「今日来た理由」、「オススメのチョコレート」で自己紹介。ロールプレイを前に打ち解けました。





● 「なりきり！チョコレート生活」のロールプレイ。テーブルごとに日本とガーナの6つの家族の状況を設定シートに合わせて、お父さん役、お母さん役などを演じつつ、半年の収入に応じ何にお金を使うか、話し合って決めました。

● 各家族の状況とお金の使い方で決まったことを全体で発表・共有。参加者の発表演技に感心したり、笑ったり、各家族の状況の違いに驚いたり。最後に、この体験を通して気づいたこと、感じたことをグループで出し合い、全体で共有しました。



● 児童労働をなくす活動のビデオとともに、ESD活動に取り組む刈谷北高校の生徒が出演し、愛知淑徳大学のプロジェクトメンバーの監督によるフェアトレードを知るオリジナル映像を観ました。

● フェアトレードの試食・試飲タイム！ピープルツリーのチョコレート6種！食べ比べという豪華試食のほか、パラゴンバナナ、マスコバド糖そのものかりんとう、ドライマンゴー、コーヒー、チャイというご馳走。試食中、テーブルマスターがどんな商品なのかを説明しました。



● JICA 中部とのタイアップで、エッセイコンテスト表彰式 in 刈谷も行われました。受賞作のスピーチは「世界の課題と私たちの暮らし」といったもので、この会のテーマにもぴったりでした。

● 途中の休憩や最後のフリータイムで、フェアトレードマーケットでお買い物。写真は、プロジェクトメンバーが主宰している「ぎたんじやり」のブース。奥にはアフリカ工房、アジア日本相互交流センター・ICAN、アジア車いす交流センター・WAFCOAのブースが出されました。



■ 参加者アンケート結果 ★満足度＝100％ 全員が参加して「よかった！」と答えました。具体的には以下のとおりです。

問1 参加してよかったですか？

◇ とてもよかった	28人 (93%)
◇ よかった	2人 (7%)
◇ どちらでもない	0人 (0%)
◇ よくなかった	0人 (0%)

問2 よかったところ、わかったところは？ (複数回答)

	参加者全体	外国籍参加者	日本人参加者
◇ 「フェアトレード」という言葉や内容	17人 (57%)	2人 (40%)	15人 (60%)
◇ カカオの生産の実態 (児童労働など)	25人 (83%)	5人 (100%)	20人 (80%)
◇ 買い物を通した国際貢献	12人 (40%)	2人 (40%)	10人 (40%)
◇ フェアトレードチョコやコーヒーなどの試食	19人 (63%)	4人 (80%)	15人 (60%)
◇ いろいろな人とのお話や交流	19人 (63%)	2人 (40%)	17人 (68%)



■ 平成26年度も地球市民拠点プロジェクトを実施し、「グローバル・カレッジ」を行います。新メンバー募集中です！

「刈谷市国際化・多文化共生推進計画」(2011年度策定)に基づき、新たにできた刈谷市国際プラザを、各セクターが参画して「地球規模で考え地域で行動する市民＝地球市民」を育む拠点にしていこうと、2012年度に「地球市民拠点プロジェクト」が始動しました。

同プロジェクトでは、外国人と日本人の共生、地球市民の育成を目的とした連続講座「グローバル・カレッジ」を2012年度に5回(延参加242名)、2013年度に4回(延参加192名)開催しました。その間プロジェクトメンバーは増え、現在30名。3/14のプロジェクト会議では、2013年度の活動を振り返り、2014年度に向けた目的実現のためより良くするアイデアをワールドカフェなどの手法で出し合いました(右参照)。グローバル・カレッジ2014の開催とともに、これらを実現するためにも、より多くのメンバーが必要です！ぜひあなたの参画をお待ちしています！

地球市民拠点プロジェクト2014の取り組みアイデア

- A. 外国人の担い手・企画の発掘
 - ナショナルDayの隔月開催
- B. 若い力・高校生がもっと関わられるように！
 - 刈谷ユネスコクラブ(高校生イベント自主企画)
- C. グローバル・カレッジの集客
 - 講座各回のチラシを作成(翻訳版も)
 - 外国人がいる企業等との広報協定、協力者確保
- D. 外国人に普段からプラザに来てもらう方法
 - 外国語のマンガの導入、市民コンシェルジュ・サービスの検討
 - 施設入り口の装飾
 - 外国人の集まる施設から学ぶ(見学)
- E. 国際化・多文化共生の情報発信戦略ツール
 - 専用ホームページ・フェイスブックの開設
 - 国際プラザの建物の愛称付け
- F. 関係団体・エスニック店などの情報共有・連携
 - 関係団体が活動する海外現地とSkype
 - 協働イベントの実施
 - エスニック店などのマップ作成

